

海老名総合病院

呼吸器内科 後期研修プログラム

① 当診療科の紹介・特徴

地域中核病院として呼吸器疾患に多い、気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・呼吸器感染症(肺炎・肺結核・非結核性抗酸菌症)・肺癌・間質性肺炎など呼吸器内科疾患全般の診断・治療を行っています。診療体制は呼吸器内科4名で入院平均患者数は30-50名/日程度です。気管支鏡検査においては140件/年程度あります。日本呼吸器学会の特定地域関連施設にも認定されております。また呼吸器科として患者が最良の治療を受けれるよう呼吸器外科とも合同にカンファレンスを行い連携しています。非常に症例数が多く、たくさんの経験が得られると思います。

② 研修指導体制

以下のスタッフにより指導を行います。

山野 義光(やまの よしみつ) 呼吸器内科部長	
大学	日本医科大学卒業
資格	日本呼吸器内視鏡学会専門医 日本医科大学附属病院呼吸器・感染・腫瘍内科客員講師

谷内 七三子(たにうち なみこ) 呼吸器内科医長	
大学	日本医科大学卒業
資格	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、肺がん CT 検診認定医

野島 大輔(のじま だいすけ) 医員	
大学	獨協医科大学卒業
資格	日本内科学会認定内科医

成田 宏介(なりた こうすけ) 医員	
大学	日本医科大学卒業
資格	日本内科学会認定医

③研修プログラムの概要

(ア) 行動目標

呼吸器内科医としての専門性だけでなく、内科医としての幅広い知識の習得を目標としています。さらには医師としての人間性の向上や、より良いチーム医療の実践を目標に行きます。

(イ) 経験目標

外来管理に関しては、おおよそ週2回・半日の外来で20～30人の再診患者を中心に診察し、数名新患患者も診察します。

入院管理に関しては、主治医となり1日平均10～15名程度の患者を受け持ち、診察して治療方針を決めてゆきます。

手技・技術の習得に関しては、中心静脈穿刺、胸水穿刺、気管支鏡検査、NIPPV・人工呼吸器管理などを中心に手技・技術を取得する事が目標です。

(ウ) 到達目標

この研修プログラムを通じて、十分な経験を積み、たくさんの知識を身につけることが目標です。さらには、呼吸器専門医の取得も目指した研修目標とします。

④臨床研究・学術活動

積極的に学会に参加することや、呼吸器科専門医の指導のもとに学会での発表・学術誌への症例報告などを行ってゆきます。

⑤認定医（専門医）資格の取得

当院は日本内科学会認定施設であると同時に、日本呼吸器学会特定地域関連施設です。研修期間内に日本内科学会認定医を取得し、呼吸器専門医への準備とします。

⑥ 評価

3年間の後期研修終了後、指導医により研修内容と成果について総合的に評価します。

⑦ 週間予定

月曜日 朝8時より全内科合同のカンファレンス

水曜日 朝9時より12時まで気管支鏡検査

金曜日 朝10時から呼吸器内科・呼吸外科合同カンファレンス

⑧ 研修プログラム後の進路について

3年間の後期研修医終了後、引き続き当院呼吸器内科常勤医として勤務可能です。また、当院呼吸器科は日本医科大学呼吸器内科の関連施設であり日本医科大学呼吸器内科への入局も可能です。